

	島根大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	総合理工学部（第1年次:400 第3年次:12） 大学院総合理工学研究科（M:124 D:12）
沿 革	大正9（1920）年 松江高等学校設置 昭和24（1949）年 新制島根大学文理学部設置 昭和53（1978）年 文理学部を改組し、理学部を設置。 昭和60（1985）年 大学院理学研究科を設置。 平成7（1995）年 理学部と農学部を改組し、総合理工学部設置 平成12（2000）年 大学院理学研究科を改組し、大学院総合理工学研究科 修士課程設置 平成14（2002）年 大学院総合理工学研究科博士課程設置
設置目的等	<p>島根大学総合理工学部、理工学研究科の母体の一つである松江高等学校は島根県における教育の普及発達を目的として大正9年に設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、松江高等学校は島根大学文理学部として承継された。</p> <p>昭和53年、文理学部を分離改組し、教育研究の充実、発展を図ることを目的に理学部が設置された。</p> <p>昭和60年、学部における一般的教養ならびに専門的知識の基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における高度の理論と応用能力を有する研究者と技術者を養成することを目的に、理学研究科が設置された。</p> <p>平成7年、基礎科学と応用科学技術に対する幅広い知識と学際的センスを兼ね備え、かつ柔軟な適応能力と独創性を持った人材を養成することを目的に、総合理工学部が設置された。</p> <p>平成12年、自然科学分野における高度科学技術者の育成並びに社会人、外国人留学生に対し、高度な科学技術の教育を積極的に推進し、あわせて人工材料・情報・環境技術等の分野において独創的な科学技術の発展と地域産業の振興に寄与することを目的に、総合理工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成14年、産業発展の基礎となるマテリアル開発分野と、情報通信システム技術及び高機能電子材料・デバイス開発分野について、世界レベルの研究を積極的に推進すると共に、高度な科学技術者、社会人、</p>

	<p>留学生を育成し、地域や国、世界の産業振興に寄与することを目的に、総合理工学研究科博士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>島根大学においては、理学及び工学の複数の既成分野を融合・総合することにより、理学、工学及び理工系の学際分野に関する幅広い教育・研究を行うことを目的として、教育、研究、社会貢献に取り組んできている。特に、理学分野においては、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 基礎理論から応用技術まで一体化した学部・大学院として教育研究を推進してきた実績を生かし、島根県をはじめとする周辺地域の理学教育の機会均等に寄与し、幅広い教養と基礎理論の獲得に裏付けられた実験的・理論的方法論を身に付け周辺地域の豊かな学術・文化の発展に貢献できる理学系人材、及び工学的視点を兼ね備え地域におけるイノベーションの基盤を育む理工系人材の育成の役割を果たす。</p> <p>大学院博士前期課程においては、学部で修得した実験的・理論的専門基礎知識を基に高度で深化した理学分野の学究を進め、周辺地域をはじめとし広く国内外における学術・科学の発展に寄与できる理学系専門人材の育成の役割を充実する。また、大学院博士後期課程においては、最新・先端的な研究成果に基づいた専門教育を行い、自由な発想力と豊かで柔軟な創造力をもって現代科学の発展を牽引する研究者・教育者等の人材養成の役割を果たす。</p> <p>○ 全学科で展開している「メンター制度」等の初年次生に対するピアサポート、理工大好き学生の応援プログラム、国際的通用性のある認証プログラムの活用、高校教員との大学初年次「微分積分学」教科書の共同執筆等を積極的に推進してきた実績や、大学院博士前期・後期課程における「英語による『地球』教育特別プログラム」を中心にアジア・環太平洋地域から留学生を積極的に受け入れてきた実績を生かし、学術文化の発展に寄与しグローバルに活躍できる理学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。</p> <p>○ 解析学を中心とした数理科学分野や、地質・岩石・鉱物・資源研究等国内上位レベルにある先端的地球科学分野をはじめとする理学の諸分野の研究を推進する。また、汽水域等における水質環境改善の化学的研究及び、理学・工学・医学の学際研究としてのナノテクノロジーにおける物理及び化学分野等の理学的基盤研究等これ</p>

	<p>までの研究実績を生かし、自然科学の基盤及びそれらの工学的応用研究を推進する。</p> <p>○ 島根県をはじめとする周辺地域における理数系現職教員の研修支援や、数学啓発のための地元主要紙へのコラムの連載や島根県内高校生向け「理工特別塾」の開講、世界登録された「隠岐ジオパーク活動」への支援など、地域におけるこれまでの実績を生かし、学術の発展や地域の知識社会化の推進に寄与する。</p> <p>○ 大学院博士前期・後期課程において企業滞在型授業や夜間開講授業など社会人学生用のカリキュラムにより社会人大学院生を積極的に受け入れる等、地域の企業への研究成果の応用、地域の産業界の高度化・活性化に貢献する。</p>
--	---